



たった古い校舎は解体して新築してほしい。スクールバスについては部活も活発になると思うので、便数を増やす工夫をし、早くあの中学校へ行きたい、多くの友達と勉強や部活動を一緒にやりたいと思ってくれるような学校を作っていたきたい。

「汐見会場」

8月25日 参加者26名

○長島町が合併した当初から、汐見などの小規模校については、説明会があった。それから10年近く経過している。その間、子どもたちは育ち、汐見小学校を卒業している。小規模校となれば、いい面もあるが、どうしても小さい学校を出たが故に一步下がった状態で社会に出るのではないかと危惧する。

○子どもたちのスクールバスやアフターフォローについては、どのように考えているのか。

（教育長）バスについては、専門機関に調査を依頼している。安全確保についてはスクールガード、相談体制についてはスクールカウンセラーを配置したい。

「蔵之元会場」

8月27日 参加者50名

○蔵之元小学校、長島中学校というのは、先輩がたが築かれた立派な学校であるが、行く末を考えたときに、自分たちの孫の世代ではどうなっていくのかと考える。

○子どもたちはそれぞれの地域で育んでいたら良い。これからの子どもたちのことを考えて、社会に出たときに厳しい思いはそれぞれすることになると思うが、競争の中でもまれて子育てはしたほうがいい。

○子どもたちにとっては1年1年が大事なものである。地域住民の理解が得られることが前提であるが、早急に統合を進めていただきたい。

「城川内会場」

9月5日 参加者60名

▽チームワークや交流をするのを目的に、複式学級解消のため統合するのは理解できるが、違う環境の小学校が同時というのが理解できない。

（教育長）ほとんどの生徒は中学校を卒業したら橋を渡り、高校へ進学、あるいは就職と、新

しい世界に飛び込んでいく。その中で、自分たちは長島で一緒に育ったのだ、長島のいいところをお互いに共有したのだという一体感を持って欲しい。

○小学校は、学校ごとに交流授業を行い、中学生になったら1つの学校として連帯感を深めてほしい。

今後の進め方

町教育委員会では、答申を受けた1回目の説明会を終え、9月18日からは、児童・生徒および未就学児の保護者のかたがたを対象に意見交換会を実施しています。

今後、3回目の意見交換会を計画しています。

いただいた意見については、川添健町長に報告し、最終的に長島町議会の判断をおおぐ手順となります。

町教育委員会では、引き続き11月号でも学校統合・再編についてお知らせする予定です。